

あかいわ創生会議議事録(要旨)

日 時	令和6年8月20日(火) 10:00～12:10
場 所	赤磐市役所3階 協議会室
出席者	【あかいわ創生会議委員】 金谷征正、大森啓二郎、宗田勝志、三村聡、植田嘉好子、赤枝知雄、馬場信彰、藤井裕也、大西景子、島津義昭、戸田洋美、高山利家 【オブザーバー】大学生2名 【あかいわ創生本部会議本部員】 友實市長、坪井教育長、倉本総合政策部長、戸川総務部長、杉原財務部長、矢部市民生活部長、遠藤保健福祉部長、是松産業振興部長、桐谷建設事業部長、入矢教育次長、大崎産業振興部参与、岡本建設事業部参与、原田教育委員会参与 【事務局】 山崎政策推進課長、直原、菅主査
次 第	1 開 会 2 挨 拶 3 報告事項 赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標指標の進捗状況等について 4 議 事 デジタル田園都市国家構想交付金の効果検証について 5 その他 ふるさと納税、企業版ふるさと納税の実績について 「地方創生 10 年の取組と今後の推進方向」にみる赤磐市の状況について
要 旨	報告事項「赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標指標の進捗状況について」は、事務局より資料3に基づき KPI の達成状況についての報告を行った。 議事「デジタル田園都市国家構想交付金の効果検証」については、令和5年度に取り組んだデジタル田園都市国家構想交付金の推進タイプ1事業、デジタル実装タイプ1事業の取組状況を報告し、「地方創生に効果があった」ということについて承認をいただいた。 その他の2つの項目について事務局から報告を行った。 これらの議論を通じて、委員の皆様から本市の地方創生の取組について、一定の成果は出ているというご意見をいただくことができたが、地方創生のさらなる推進に向けて下記のようなご意見をいただいた。 ●中高生のボランティアという部分において活動できる場を増やしていくことが必要。また中高生の企画やプレゼンに関して発表できる場の創出を。例えば既存の市

	民活動実践モデル事業の審査や報告日を休日にする、若者まちづくり推進事業の参加枠を引き下げて、中高生に特化した枠を設けるなどの検討を行ってほしい。 ●中山間地域での創業や新規就農者の状況はどのようになっているのか。数の把握も大切だが、内実の把握を行ってほしい。 ●6次産業の KPI があるが、赤磐市での有効な事例はあるか。少量生産では収益につながらない。 ●鳥獣被害が増加している。市として対策を検討してほしい。 ●観光 PR を紙媒体から web 広告に切り替えている自治体も多くみられるので検討をすべきである。 ●市のホームページのアクセス数が減少している。アクセスしやすいような対策を行うべき。また小中学生が調べ学習などでホームページを活用することがあるので、子ども用と大人用との2つのサイトを設けるなど見やすい、見てもらいやすい工夫をすべき。 ●DX の推進に関して全国的に「来ない」窓口を進めている。とはいえそのような制度を導入した場合いかに市民に周知し活用してもらうかが大切になってくる。 ●子ども・子育て総合相談窓口の人員の確保や相談員のスキルアップは、こども家庭庁でも力を入れているところなので、引き続き取り組みを進めてほしい。 ●離農者はどの程度いるのか。それぞれの部会で盛り上げていく必要がある。 ●事業承継のことはこれから大切になってくるので対応を考えてほしい。 ●観光では地元にある小さな観光資源を見つけ出して、PR を行ってほしい。 ●市の様々なデータが閲覧しやすくなると、市民も多面的に物事を見られるのではないか。 ●どの取り組みにも言えることだが、目指すもの・目的とその事業が本当にマッチした事業かどうかは常に検証を行いながら、事業をすすめていただきたい。
--	--